

Q-Board

証券コード 3824

第44回福証IRフェア

メディアファイブ株式会社



I. 会社概要



会社概要

Media Five Co.

会社名 メディアファイブ株式会社（英文名:Media Five Co.）

設立年月日 平成8年6月

代表者 代表取締役社長 上野 英理也

本社所在地 福岡市中央区薬院1丁目1番1号 薬院ビジネスガーデン6階

資本金 175,825千円(平成25年5月末現在)

従業員数 141名(外、平均契約社員数 21名)（平成25年5月末現在）

事業内容

- ①ソリューション事業： ソフトウェアの受託開発
ITエンジニアの提供
オフィスドクターのサービス提供
- ②スクール事業： ITプロ育成スクールの運営
- ③工事関連事業（株式会社匠工房）： 内装工事等



会社の沿革

Media Five Co.

- | | |
|----------|--|
| 平成 8年 6月 | 福岡市東区西戸崎において、ソフトウェアの受託開発を目的として有限会社メディアファイブを設立。 |
| 9年 8月 | メディアファイブ株式会社に組織変更。 |
| 12年12月 | 本社を福岡市中央区天神へ移転。
一般労働者派遣事業認可を取得しITエンジニアの提供を開始。 |
| 13年 1月 | ITエンジニア育成研修を開始。 |
| 18年10月 | 福岡証券取引所Q-Board市場へ株式上場。 |
| 19年 5月 | プライバシーマーク付与認定。 |
| 19年11月 | 東京営業所(東京都千代田区麹町)新設。 |



会社の沿革

Media Five Co.

- | | |
|-----------|--|
| 平成 20年 1月 | 企業向けITエンジニア育成事業を開始。 |
| 20年11月 | 一般個人向けITエンジニア育成事業を開始。 |
| 22年 9月 | オフィス巡回型エンジニアリングサービス「Bakoon!!」(現OFFICE DOCTOR)を開始。 |
| 22年10月 | 福岡本社を福岡市中央区薬院へ移転。 |
| 22年11月 | Netbox Blue Pty Limited(豪州)と販売及びサービス提供契約を締結。 |
| 22年11月 | 東京営業所を東京都港区東新橋へ移転。ITプロ育成スクール新橋校を開設。 |
| 22年12月 | ソリューション事業BtoCソリューショングループにおいて「ISO/IEC27001:2005」認証取得。 |



会社の沿革

Media Five Co.

- | | |
|-----------|--|
| 平成 23年 7月 | 株式会社匠工房の株式を取得し、子会社化。 |
| 24年 5月 | 東京営業所を同地区内(港区東新橋)へ移転。ITプロ育成スクール新橋校を閉鎖。 |
| 24年 7月 | ITプロ育成スクール天神校を閉鎖。ITエンジニア育成研修(虎の穴研修)の再始動。 |
| 24年 8月 | 福岡人事マネジメント、西岡経営管理事務所と業務提携。 |
| 25年 7月 | Bakoon!!サービスを「OFFICE DOCTOR」へ名称変更。 |
| 25年 8月 | 株式会社梓書院と業務提携を行い、合併会社として株式会社ダブルスキルを設立。 |

⋮



「 優秀なエンジニアを九州・福岡から輩出し、
最高のサービスを顧客に提供することにより、
IT技術を文化として広く世界に伝達する。 」



II. 事業紹介



BtoBソリューショングループ

Media Five Co.

- ◆ プログラマー、システムエンジニア等のITエンジニアを顧客へ提供する。
- ◆ 主な対象業務は、プログラム製造業務やネットワーク保守業務で開発言語は、Web系の言語(Java、.NET、PHP等)が主流である。
- ◆ 主な取引先は、大手メーカー関連の開発会社や大手ITベンダー等である。

エンジニアリングサービス



教育



採用



BtoCソリューショングループ(金の臍チーム)

Media Five Co.

- ◆ 業務改善・コスト削減等の観点から顧客の問題点をITで解決する。
- ◆ 対象システムはWeb系の各種システム。開発言語はJava、.NET、PHP等である。
- ◆ 大手メーカー関連IT企業の製品開発や大手塾のシステム、中小企業の業務アプリケーション、ホームページ製作、ネットワーク回線工事など様々な業務の実績がある。



BtoCソリューショングループ(猿雲！チーム)

Media Five Co.

- ◆ OFFICE DOCTOR(オフィス巡回型エンジニアリングサービス)を始めとする、保守・運用サービスの提供を行う。
- ◆ データ預かり隊！(安全安心データセンター)の提供を行う。
- ◆ パソコンを始めとするIT機器の提案・選定・販売を行う。



- ◆ 平成24年7月31日付けで求職者支援制度による職業訓練を終了した。
- ◆ 当社独自のITエンジニア育成研修(当社呼称:虎の穴研修)に注力し、当社の各事業で活躍できるITエンジニアを育成している。
- ◆ IT業界未経験の若者を約6か月で育成し、技術力だけでなく人間力の育成を同時に行うのが大きな特徴である。



工事関連事業(株式会社匠工房)

Media Five Co.

- ◆ 子会社の株式会社匠工房は、各種テナント・賃貸ビル等の建設設計・管理並びに施工・内装工事・外装工事等を行う。
- ◆ オフィスのIT環境構築やOA機器の提案等、猿雲！チームと協業を行っている。



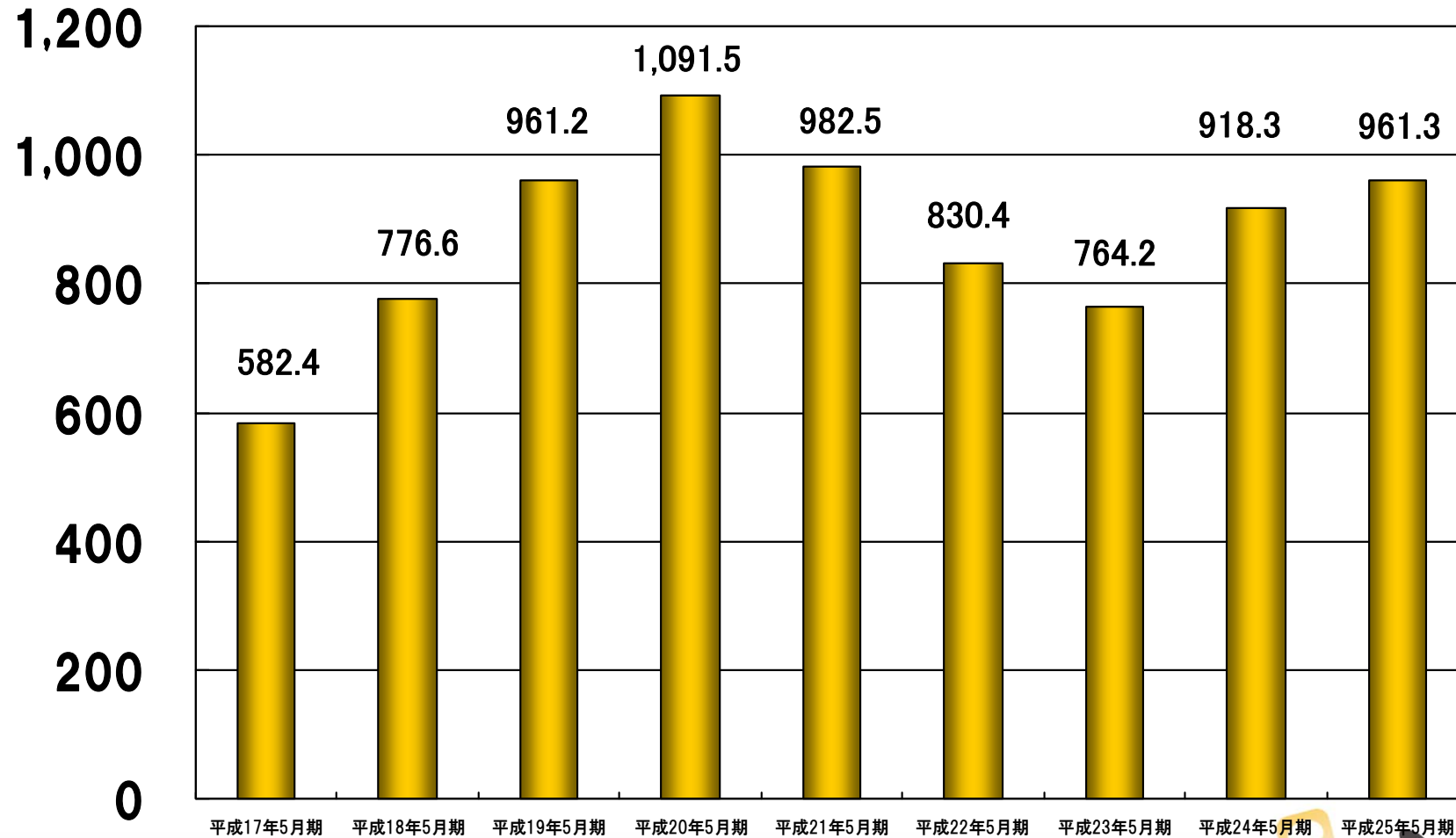
III. 業績推移



売上高の推移

Media Five Co.

(単位:百万円)



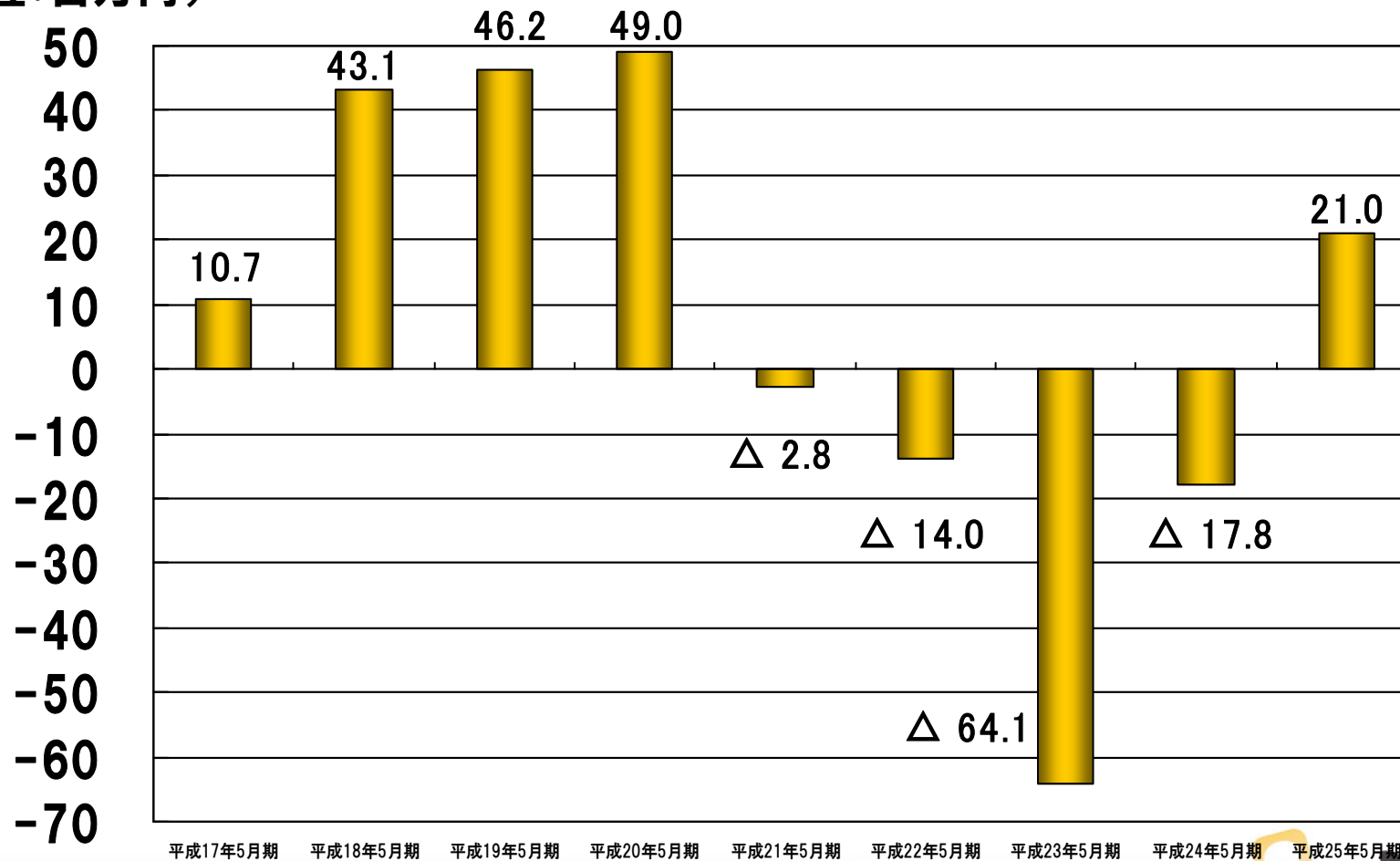
※平成24年5月期以降は、連結の数字となっております。



営業利益の推移

Media Five Co.

(単位:百万円)



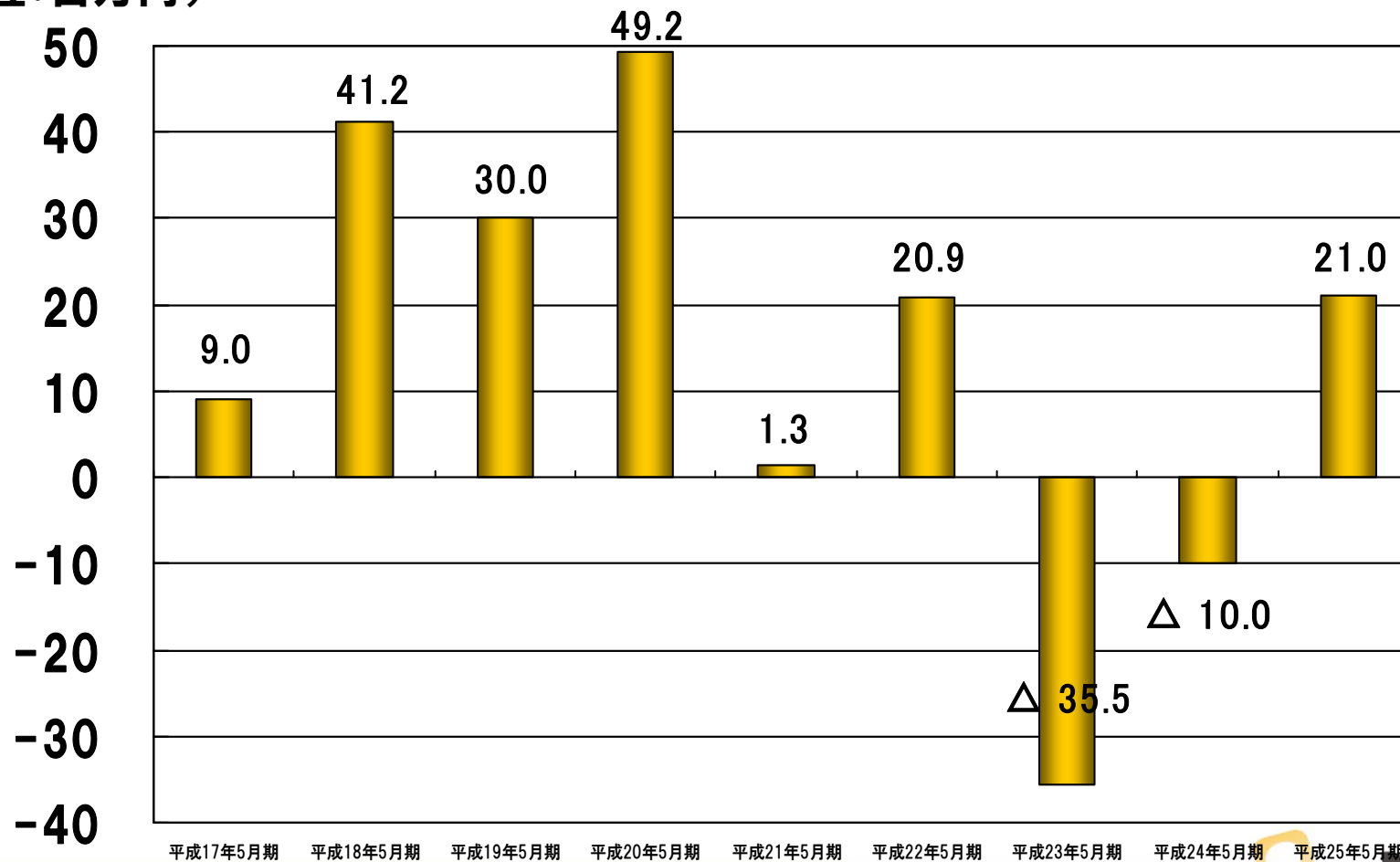
※平成24年5月期以降は、連結の数字となっております。



経常利益の推移

Media Five Co.

(単位:百万円)



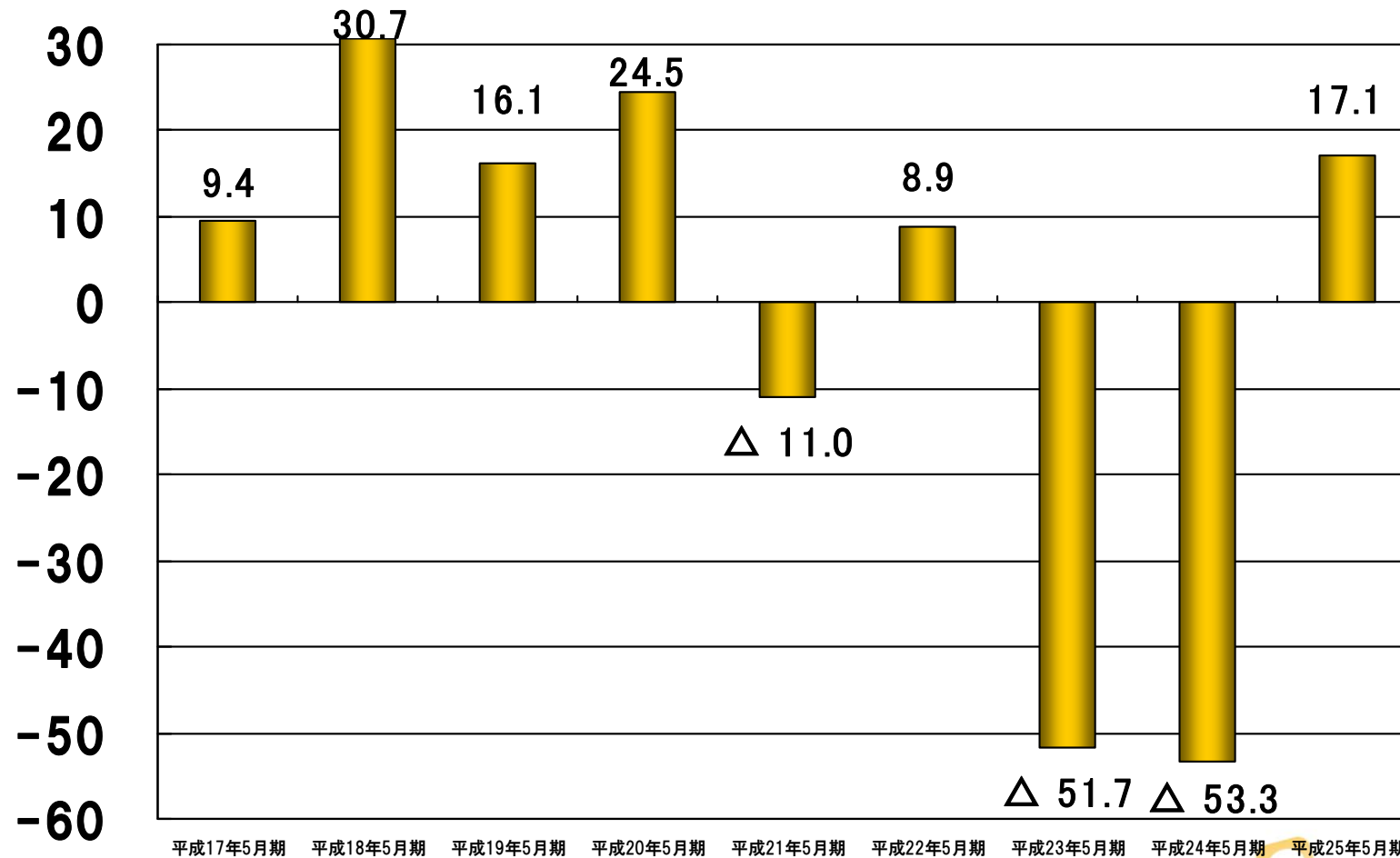
※平成24年5月期以降は、連結の数字となっております。



当期純利益の推移

Media Five Co.

(単位:百万円)



※平成24年5月期以降は、連結の数字となっております。



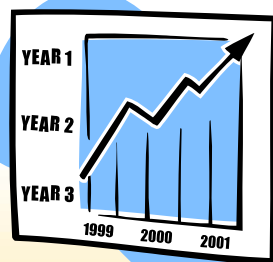
IV. 平成25年5月期の振り返り



5期ぶりの営業利益の黒字化

Media Five Co.

- ◆ BtoBソリューショングループのITエンジニアの稼働者数増加
ITエンジニアの稼働者数が第17期スタート時**128名**でしたが、
期末において**133名**と増加しました。また、それに伴い
待機しているITエンジニアが減少しました。
- ◆ BtoBソリューショングループの一人当たりの平均単価の上昇
ITエンジニア不足の環境を背景に、営業的な交渉を行った
結果、一人当たりの平均単価が**上昇**しました。



5期ぶりの営業利益の黒字化

Media Five Co.

- ◆ BtoCソリューショングループの売上総利益率の向上・稼働率の向上
営業を含むグループ内の稼働工数を適正化したため、
セグメント利益が8百万円計上されました。
(前事業年度は34百万円の損失)
- ◆ スクール事業(ITエンジニア育成研修)の経費適正化
求職者支援制度(厚生労働省管轄)の職業訓練を終了し、
当社独自のITエンジニア育成研修(虎の穴研修)へ講師を
シフトしました。
現在も、各事業で活躍するITエンジニアの育成が進んでおります。



V. マーケット環境

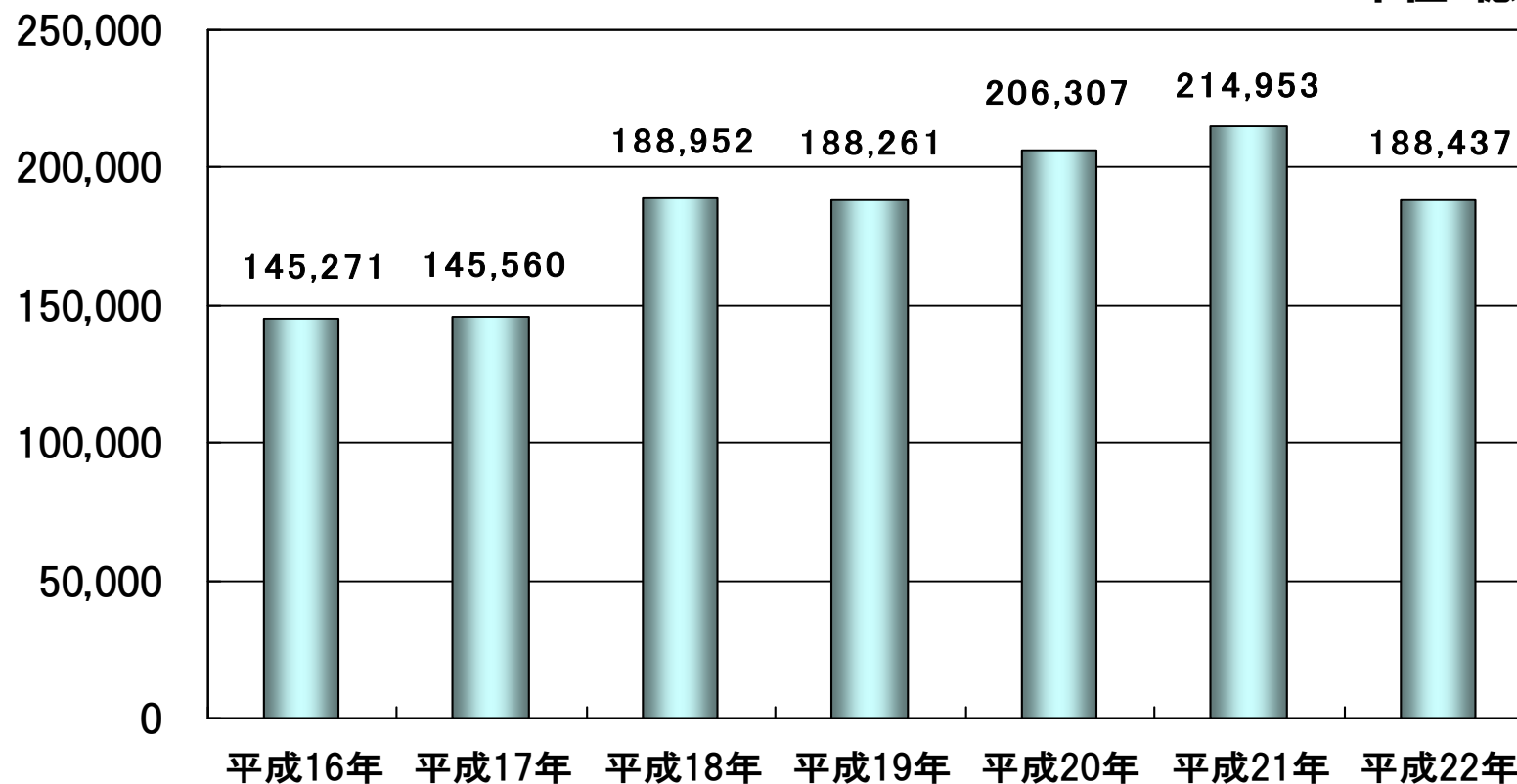


情報サービス産業の動向(売上高)

Media Five Co.

情報サービス産業の売上高推移

単位:億円



＜経済産業省 特定サービス産業実態調査より作成＞

※平成20年以降は調査対象の見直し・拡大を実施しており、インターネット付随サービス業を含む。
情報サービス産業全体の平成23年以降の公表はなし。

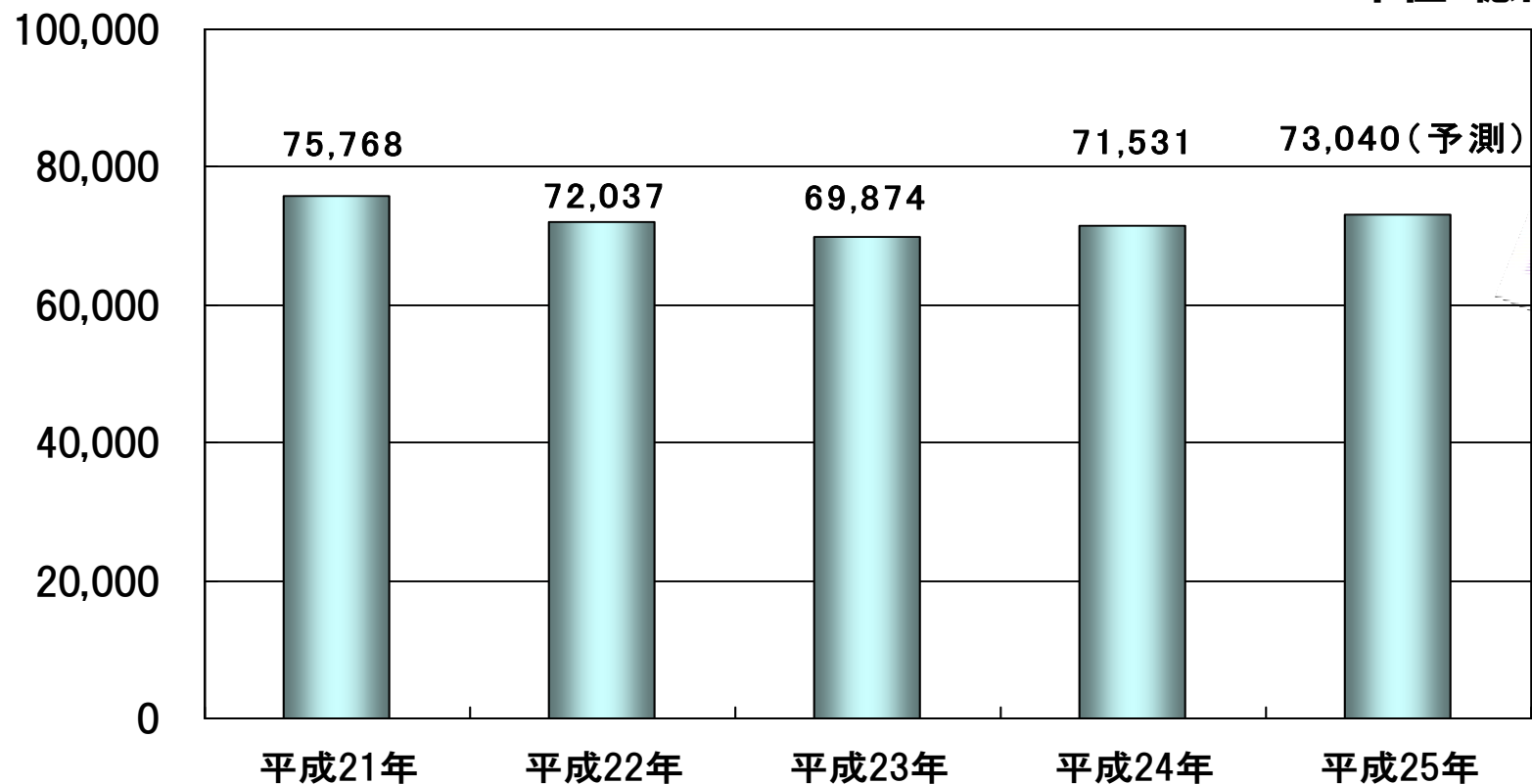


ソフトウェア業務の年間売上高

Media Five Co.

❖ ソフトウェア開発・プログラム作成の売上高推移

単位:億円



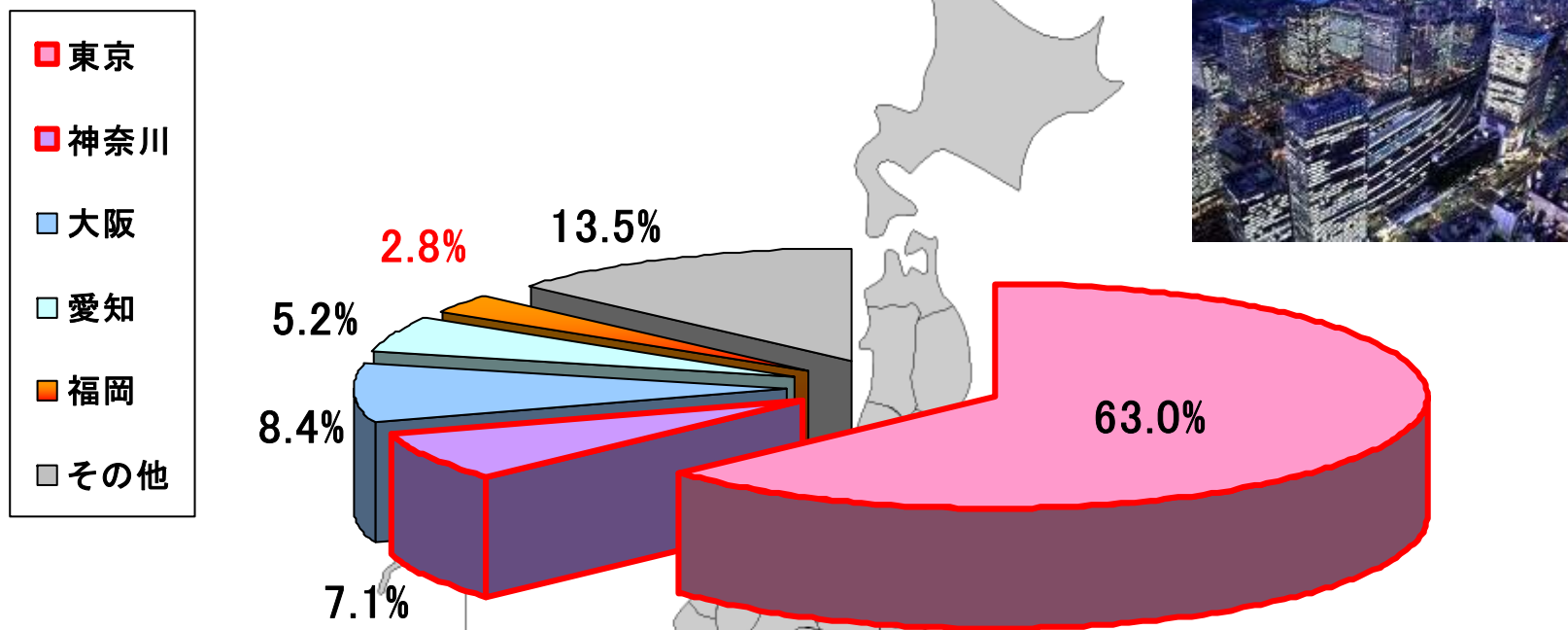
<経済産業省 特定サービス産業実態調査より作成>

※平成25年は、1月～6月の数値が前年比約**2.1%**増加しており、その数値を用いて予測値を計算。緩やかな**回復基調**が続いている。



ソフトウェア業務の年間売上高(地域別)

Media Five Co.



<経済産業省 平成22年特定サービス産業動態統計データより作成>

当社の主力事業であるソフトウェア業務は、首都圏(東京・神奈川)の企業が**70.1%**を占めており、首都圏への一極集中が伺える。

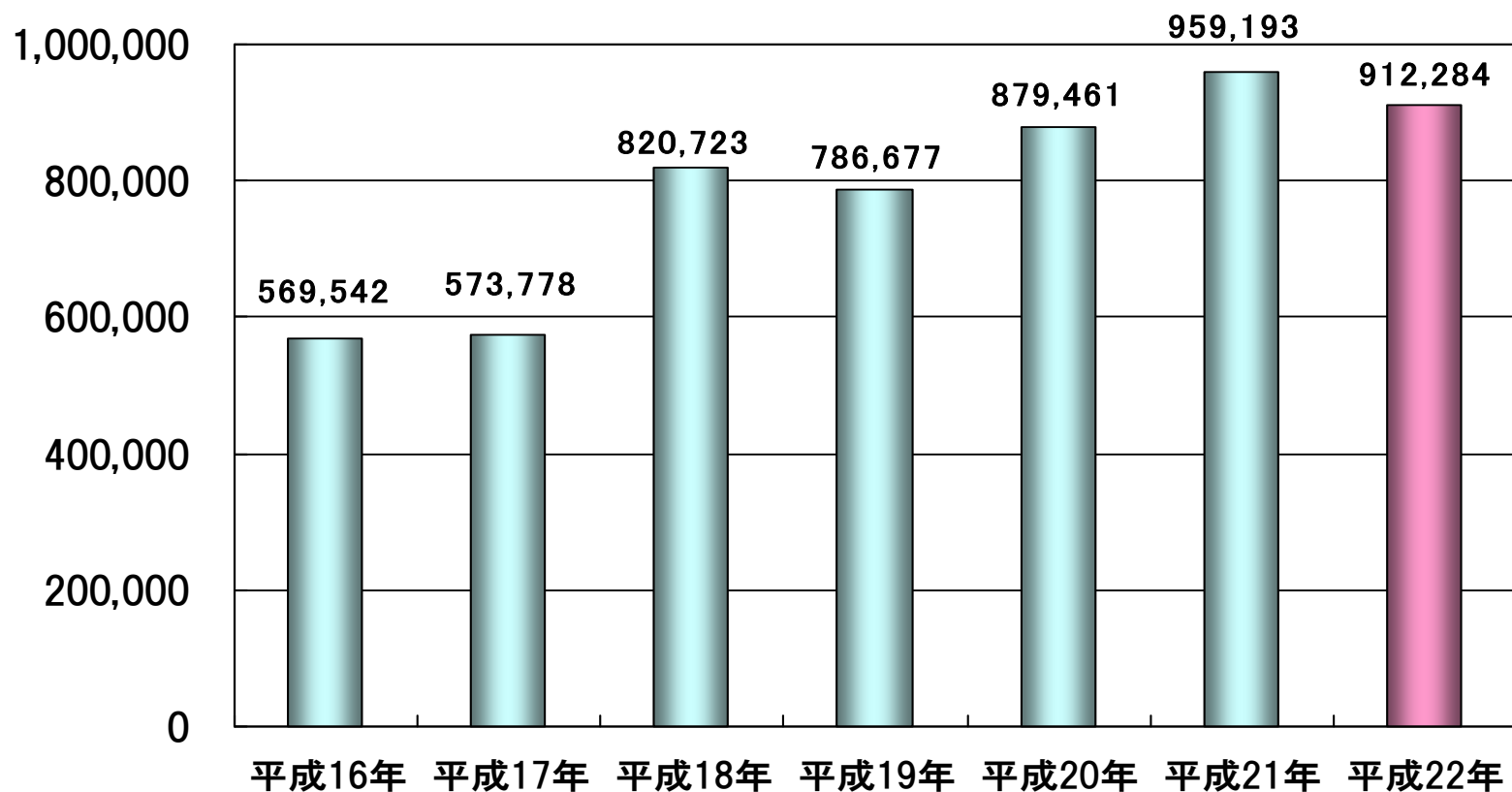


情報サービス産業の動向(従業者数)

Media Five Co.

情報サービス産業の従業者数推移

単位：人



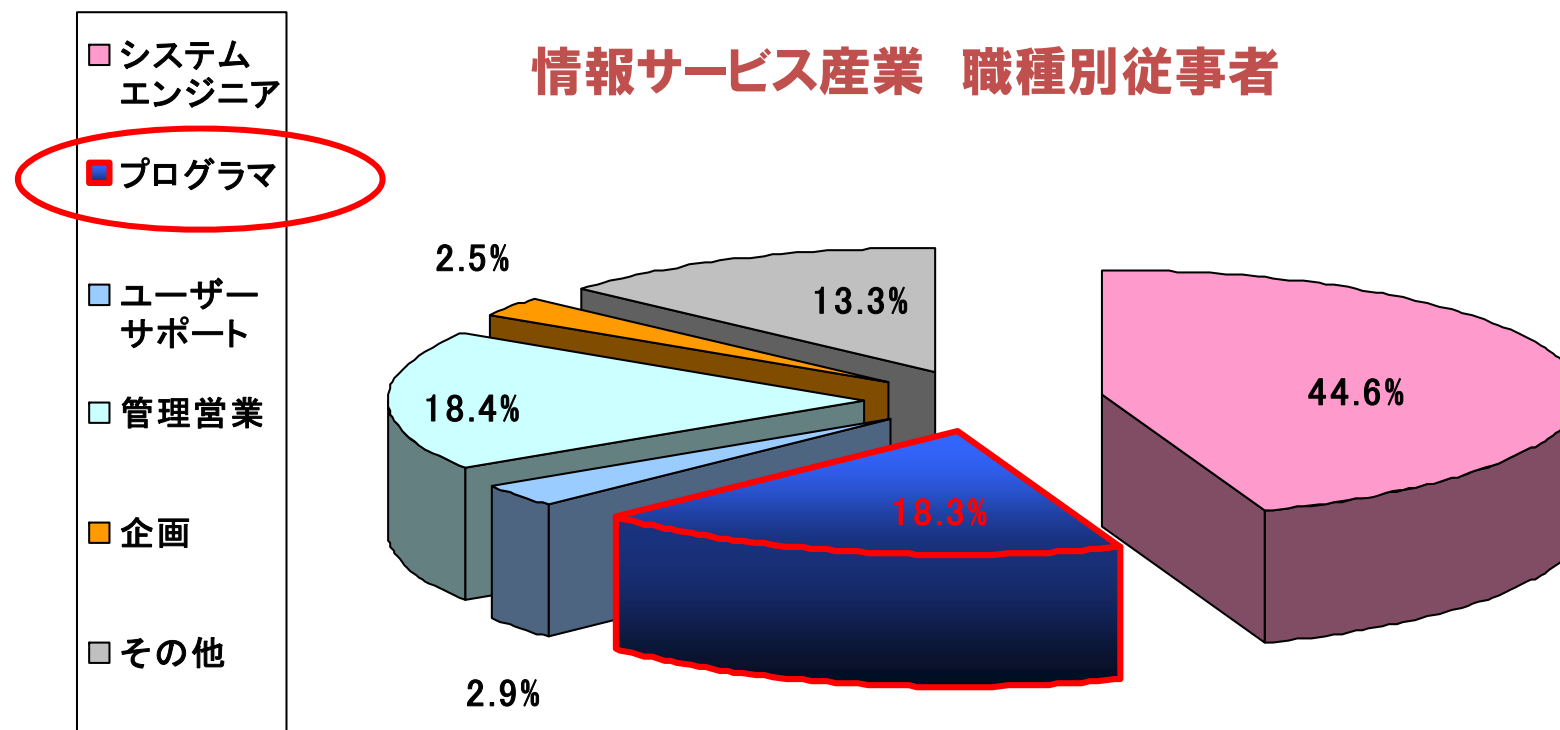
<経済産業省 特定サービス産業実態調査より作成>

※平成18年平成20年に調査対象の見直し・拡大を実施している。
情報サービス産業全体の平成23年以降の公表はなし。



情報サービス産業の職種別従事者

Media Five Co.



<経済産業省 平成22年特定サービス産業動態統計データより作成>

情報サービス産業の従事者の中で、比較的教育に時間がかかる**プログラマ**は、従事者全体の**18.3%**に留まり、IT投資の増加とともにプログラマが不足することが想定される。



VI. 今後の戦略



中期経営計画「Next Stage 2015」

Media Five Co.

◆ 「Action Plan 2012」の概要

世界的な景気悪化を背景に、IT関連投資が減少したため、
「お客様の成長ステージに応じたITソリューションの提供」を
キーワードに、オフィス巡回型エンジニアリングサービス「Bakoon!!」
(現OFICE DOCTOR)や安全安心データセンター「データ預かり隊！」等の
新サービスを積極的に展開しました。



中期経営計画「Next Stage 2015」

Media Five Co.

◆ 「Next Stage 2015」の概要 経営ビジョン

「メディアファイブES(Employee's Satisfaction)向上計画」

- ①従業員の**技術的・知識的**満足度の向上
- ②従業員の**収入的**満足度の向上
- ③従業員の**地域貢献度**の向上
- ④①～③を実現することによる更なる**お客様満足度**の向上



①技術的・知識的満足度の向上

Media Five Co.

◆「ORACLE MASTER Platinum Oracle database 11g」 資格取得チャレンジチームの結成



ORACLE MASTER 資格保有者数（九州地区）

Platinum	10名未満
Gold	約500名
Silver	約1,500名

◆「短期語学留学制度」の充実 平成24年1月からグローバル人材(英語力・交渉力)の育成を 目的に「短期語学留学制度」を開始している。



②収入的満足度の向上

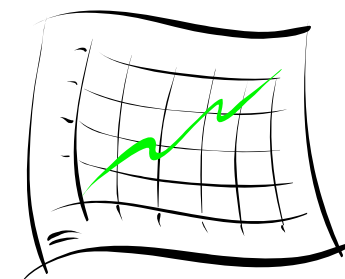
Media Five Co.

- ◆ ITエンジニア市場価値の向上による従業員所得の増加
技術力・知識力の向上により、ITエンジニアの市場価値を
向上させ、従業員の所得を増加させる。

<狙い>

- ①優秀な人材の囲い込み
- ②中途採用者の積極採用

目標年収	
福岡地区	平均400万円
東京地区	平均650万円



③地域貢献度の向上

Media Five Co.

- ◆ 「OFFICE DOCTOR(オフィスドクター)」の役割
オフィス巡回型エンジニアリングサービスを広めることにより
地域経済の発展に寄与する。

<オフィスドクターの特徴>

- ①巡回訪問のPCメンテナンス
- ②レンタルサーバー(データ預かり隊！)
- ③パソコン・ソフトウェアなどの機器販売
- ④パソコン・ソフトウェアなどの機器設置・設定
- ⑤その他IT全般に関する相談窓口

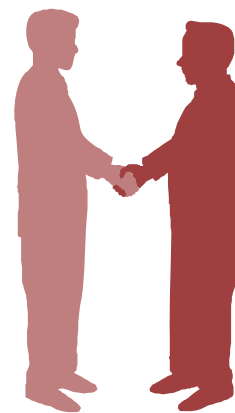
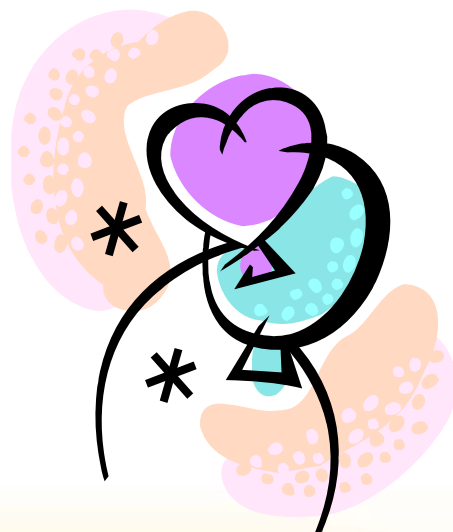
お客さまに私たちのピースを加えて、業務や効率性に
+ (プラス) を与えるサービスを目指します。



④①～③の実現によるお客様満足度の向上

Media Five Co.

- ◆ CS(Customer's Satisfaction)の更なる向上
「メディアファイブES(Employee's Satisfaction)向上計画」を実現することで、強いエンジニア集団として他社との差別化を図り、「Action Plan 2012」で掲げていた、CS(Customer's Satisfaction、お客様満足度)を高める。



中期経営計画目標数値

Media Five Co.

中期経営計画目標数値（連結）（単位：百万円）

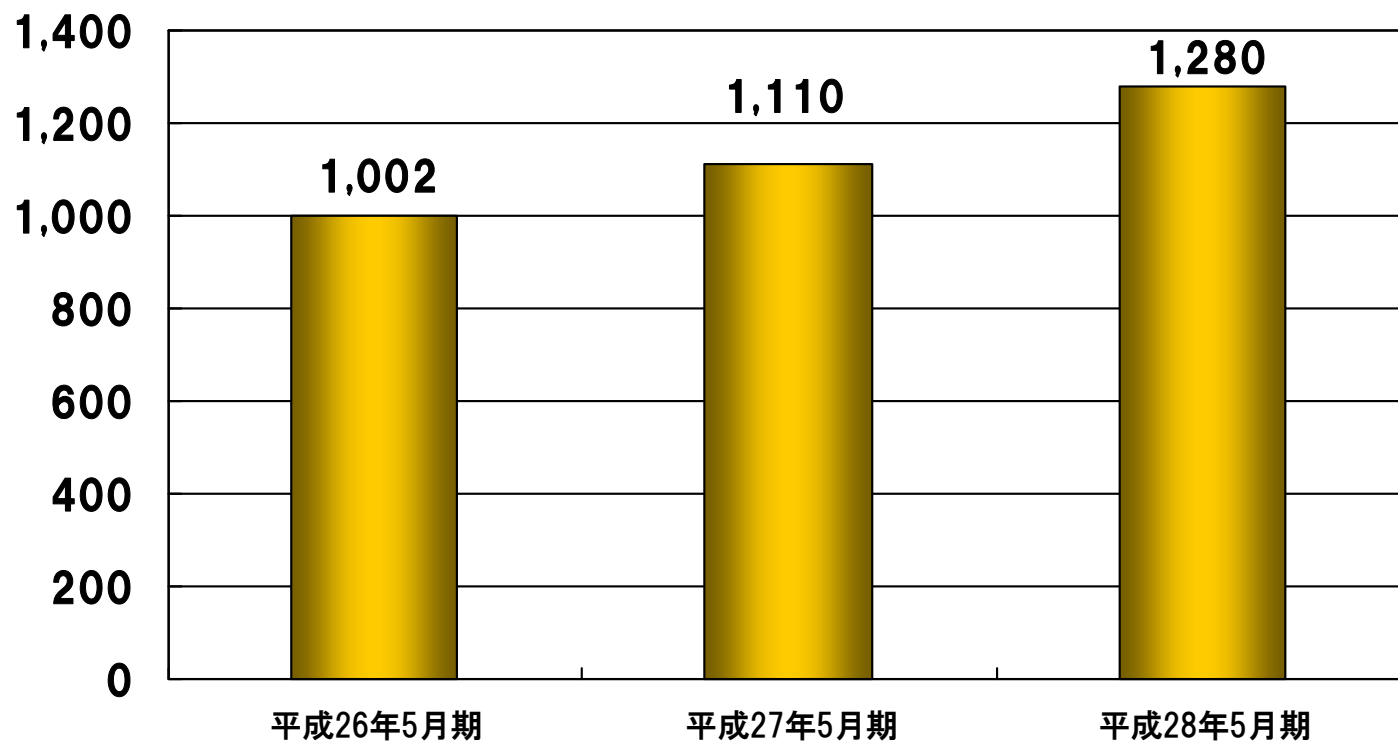
	平成26年5月期	平成27年5月期	平成28年5月期
売上高	1, 0 0 2	1, 1 1 0	1, 2 8 0
営業利益	2 1	3 5	5 0
経常利益	2 1	3 5	5 0
当期純利益	1 8	2 0	2 5



中期経営計画目標数値(連結売上高)

Media Five Co.

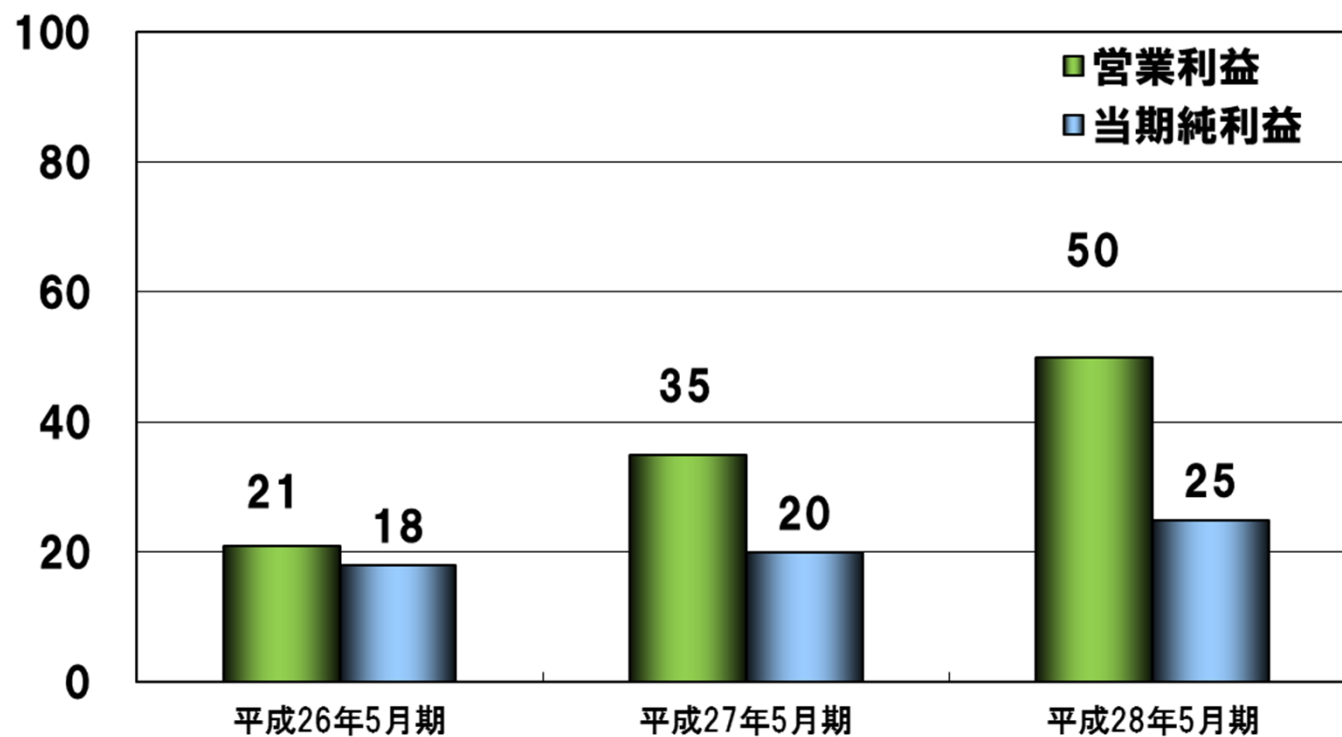
(単位:百万円)



中期経営計画目標数値(連結利益)

Media Five Co.

(単位:百万円)

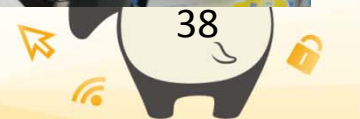


最後に

Media Five Co.



メディアファイズのNext Stageが始まります。



ご清聴、ありがとうございました。



ご注意

本資料は事業内容等に関する情報提供を目的としています。当社株式への投資を推奨するものではありません。また、本資料に記載した予想や意見等は資料作成時点のもので、その正確性、完全性を保証、約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。

